

### 「技術力」と「連携」最優先に

安部日鋼工業  
代表取締役社長 井手口 哲朗



年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年新型コロナウイルスの活動自粛に伴う水需要

### 連携

減少による減収あるいは減免支援などにより、ポストコロナの事業運営に財政的な支障をきたす自治体もあり、ますます「広域連携」や「官民連携」が加速化しているのではないかと聞き及んでおります。今年も「技術力」と「連携」を最優先に、さらに何よりも「強靱」で「より経済的」なプレストレストコンクリート(PCL)配水池をご提供させていただきます。本年も引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### しなやかに、柔軟に

愛知時計電機代表取締役社長 星加 俊之



新春を迎えるに当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。世界的に、新型コロナウイルスの先にあるものはまだ見えません。しかし、昨年とは受け止め方、気持ちが変わり、ウィルスとの付き合い方や、働き方、パンデミックに適応してきている。何年か経って、あのときが転換期だったなと思える気がする。

### 強靱

想されます。「強靱」にトメータや、施設管理・業務支援のシステムなどを通じて、新しい時代に向けて、お役に立てるよう進んでまいります。レジリエント(強靱)なインフラを目指す水道事業の発展に寄与できるよう、水道事業者と共にはじめ、皆をま方と共に取り組んでまいります。本年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 行く末を明るく

日本コン代表取締役社長 間山 一典



2年続けたコロナ禍の先にあるものはまだ見えません。しかし、昨年とは受け止め方、気持ちが変わり、ウィルスとの付き合い方や、働き方、パンデミックに適応してきている。何年か経って、あのときが転換期だったなと思える気がする。

### 出発

昨年、中期経営計画2025の実現に向けて組織変更を行った。コンサルタントは人材が資産であり、人事制度を始めとする人への投資プロジェクトも始まった。テレワークやWEB会議などは、コロナ禍で加速した。DX(デジタルトランスフォーメーション)や脱炭素化(カーボンニュートラル)の動きは待たない。これからやるべきことは山ほどある。就任以来、これまでと、これからを分けて考えようという話をしているが、いまが転換期なのだ。変化を恐れず、前向きに適応する、そして、昨日よりも今日、今日よりも明日が、明るく思える出発の年にしたい。

### 新たな価値の創造へ

日之出水道機器代表取締役社長 浅井 武



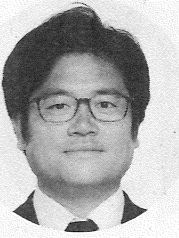
年頭に当たり、ご関係の皆さまに新年のご挨拶を申し上げます。昨年を振り返れば、皮肉にも東京オリパラ開催を待っていたように新型コロナウイルスが感染拡大を始め、8月下旬に過去最大のピークに達した辺りから一転して減少の一途をたどり、今や新規感染者

### 蒼天

ゼロという自治体も珍しくなくなりました。ワクチン接種が進んだことが大きな背景と思われ、昨年何回か見舞われた自然災害同様、高度な発展を遂げる現代のテクノロジーの限界を感じさせられました。コロナ対策然り、環境問題、社会生活も新たな価値観を軸に思考・行動様式を見直し、厚い雲の上に広がる蒼天を目指して、新たな価値の実現に取り組んでまいります。本年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 自社の存在意義に目線

フソウ代表取締役社長執行役員 角 尚宣



謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年より続いている新型コロナウイルス感染新年度は、昨年度に比べて、予断は許されないものの社会経済活動の正常化に向けた取組みが今年一層進められることと思っております。一方で、世界的な脱炭素化やデジタル化の潮流、新型コロナウイルスがもたらした価値観の変

### 融合

化やサプライチェーンへの影響など、社会経済活動がコロナ前の状態に戻ることは考えにくく、産業構造がスピードを上げて変化していくことが予測されます。このような社会情勢の中、今年も昨年同様、三年度計画でスタートさせている事業構造改革の二年目を迎えることとなります。本年も引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

### 事業の歩み着実に前へ

森田鉄工所代表取締役社長 森田 昌明



新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスは3年目を迎えますが、いまだ

### 克服

だ予測できません。水道はこのコロナ禍で最も重要な社会基盤として世の中に再認識されましたが、昨年10月に発生した和歌山市の水管橋崩落事故が象徴するように全国水道施設の更新はまさに喫緊の課題です。水道の基盤強化には、適切な資産管理と予防保全型インフラメンテナンスの推進が不可欠です。今年も引き続き、この困難を必ず乗り越えて、次の段階へと事業の歩み着実に前に進めていきたいと考えています。

### 「管路防災強靱化」スタート

日本ニューロン代表取締役 岩本 泰一



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年、経産省より採択となった「大変位耐震試験機導入による管路防災強靱化事業」を展開いたします。さらに今年、耐震試験設備群を配した新たな研究施設となる「NEURON Pipeline Resilience Laboratory」(通称「ニューロン・ラボ」)が当城南部に竣工いたします。なお、開設に当たり、ライオン地震工学に永年ご尽力されておられる小池武先生(元京都大学大学院教授)に特別顧問・シニアフェローとして就任いただき、既に若手研究者育成カリキュラムが

### 創遂

スタートしており、今後4年間にわたりご指導を賜ることになりました。地盤変動・不同沈下・断層変位・液状化など、管路防災に特化した基礎研究施設に昇華させるべく、本年より関係者の皆さま方と共に創成、完遂を目指します。各種プラント業界で50年にわたり培った伸縮可撓管の設計・開発・製造・評価技術をもとに、水道業界においても鋭意邁進してまいります。

### 耐災害性技術を確立

日本原料代表取締役社長 齋藤 安弘



新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスは、昨年より続いている新型コロナウイルス感染新年度は、昨年度に比べて、予断は許されないものの社会経済活動の正常化に向けた取組みが今年一層進められることと思っております。一方で、世界的な脱炭素化やデジタル化の潮流、新型コロナウイルスがもたらした価値観の変

### 耐災

なが実情です。政府が推進する防災・減災・国土強靱化のための5カ年加速化対策に掲げられた耐災害性強化は産官学の知恵を結集すべき最重要課題と捉えています。人類は英知を絞って局面を打開する技術を生み出し難局を克服してきまし水道界においても各分野で自然の脅威に対して真摯に向き合っています。日本原料は当社ならではの技術力で耐災害性を具現化してまいります。自然災害と向き合う新技術は地球規模の社会貢献に繋がります。誰一人取り残さないSDGsに寄与するものと確信します。最後になりますが、本年も倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

